【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年7月30日(2020.7.30)

【公開番号】特開2019-103928(P2019-103928A)
【公開日】令和1年6月27日(2019.6.27)
【年通号数】公開・登録公報2019-025
【出願番号】特願2019-73490(P2019-73490)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】令和2年5月14日(2020.5.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球を貯留する球タンク部と、
前記遊技球を受け入れ、当該遊技球を下方に備える払出装置へ流下する流下通路部と、
前記球タンク部に貯留された前記遊技球を、前記流下通路部の球受け入れ口へと誘導する誘導レール部と、
外部装置と接続可能な外部端子板と、を備え、
前記外部端子板が、遊技機後方から見たとき、前記球タンク部の右側であって、前記流下通路部の前記球受け入れ口よりも上側の位置に設けられた遊技機において、
前記球タンク部と前記誘導レール部は、ユニット化されたタンクユニットとして当該遊技機に取り付けられており、
前記誘導レール部は、前記球タンク部を構成する後端壁部より後方へと前記外部端子板から遠ざかるように屈曲し、当該外部端子板の下方の前記流下通路部の前記球受け入れ口へと遊技球を誘導可能に形成されており、
前記タンクユニットは、帯電した遊技球の静電気を除電可能に構成されている
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
パチンコ機等に代表される遊技機において、静電気によって誤動作を起こすことが知られている（例えば特許文献１）。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１２－１２０５９３
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
上記特許文献１に記載される遊技機では、帯電した遊技球から静電気を除電する対策が打たれているが、近年の遊技機においてはさらなる改良が望まれていた。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、静電気の影響を軽減させることが可能な遊技機を提供することにある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
［手段１］に係る遊技機は、遊技球を貯留する球タンク部と、前記遊技球を受け入れ、当該遊技球を下方に備える払出装置へ流下する流下通路部と、前記球タンク部に貯留された前記遊技球を、前記流下通路部の球受け入れ口へと誘導する誘導レール部と、外部装置と接続可能な外部端子板と、を備え、前記外部端子板が、遊技機後方から見たとき、前記球タンク部の右側であって、前記流下通路部の前記球受け入れ口よりも上側の位置に設けられた遊技機において、前記球タンク部と前記誘導レール部は、ユニット化されたタンクユニットとして当該遊技機に取り付けられており、前記誘導レール部は、前記球タンク部を構成する後端壁部より後方へと前記外部端子板から遠ざかるように屈曲し、当該外部端子板の下方の前記流下通路部の前記球受け入れ口へと遊技球を誘導可能に形成されており、前記タンクユニットは、帯電した遊技球の静電気を除電可能に構成されていることを特徴とする遊技機である。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、静電気による影響を軽減させることが可能な遊技機を提供することが可能となる。